



## 平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 ライオン株式会社  
 コード番号 4912 URL <http://www.lion.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 濱 逸夫  
 (氏名) 鎌尾 義明

TEL 03-3621-6211

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	274,027	3.3	11,070	50.8	12,265	49.5	7,413	51.4
26年12月期第3四半期	265,305	5.2	7,343	30.1	8,202	22.1	4,895	45.0

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 7,366百万円 (22.6%) 26年12月期第3四半期 6,007百万円 (△26.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	27.57	25.67
26年12月期第3四半期	18.25	17.52

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	280,177	130,649	43.7
26年12月期	283,352	127,434	42.6

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 122,335百万円 26年12月期 120,635百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年12月期	—	5.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	375,000	2.1	14,200	14.5	15,700	11.7	8,500	15.4	31.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期3Q	299,115,346 株	26年12月期	299,115,346 株
27年12月期3Q	27,883,378 株	26年12月期	31,001,366 株
27年12月期3Q	268,822,112 株	26年12月期3Q	268,212,713 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述している業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、経済情勢、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、上記予想数値とは大きく異なる可能性があることを御承知おき下さい。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】p.6「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を御覧ください。

## ○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	7
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期の連結業績は、売上高2,740億2千7百万円（前年同期比3.3%増、為替変動の影響を除いた実質前年同期比0.7%増）、営業利益110億7千万円（同50.8%増）、経常利益122億6千5百万円（同49.5%増）、四半期純利益74億1千3百万円（同51.4%増）となりました。

当社グループは、本年度より開始した中期経営計画「V-2計画（*Vision 2020 Part 2*）」における4つの戦略テーマ「国内事業の質的成長」、「海外事業の量的成長」、「新しいビジネス価値の開発」、「組織学習能力の向上」にもとづく施策を推進しています。

国内事業では、歯磨、歯刷子、柔軟剤、台所用洗剤等において、高付加価値の新製品を発売し、積極的なマーケティング施策により育成を図りました。

海外事業では、オーラルケア・ビューティケア等のパーソナルケア分野を中心に、重点ブランドの育成を行い、事業規模の拡大を図りました。

なお、当四半期末において、サザンライオン有限公司（マレーシア）を連結子会社といたしました。

## 【連結業績の概況】

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	274,027		265,305		8,722	3.3%
営業利益	11,070	4.0%	7,343	2.8%	3,726	50.8%
経常利益	12,265	4.5%	8,202	3.1%	4,063	49.5%
四半期純利益	7,413	2.7%	4,895	1.8%	2,518	51.4%

## 【セグメント別の業績】

(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
一般用消費財事業	197,243	198,259	△1,016	△0.5%	6,596	4,477	2,118	47.3%
産業用品事業	42,253	43,938	△1,684	△3.8%	942	1,526	△583	△38.2%
海外事業	73,423	62,593	10,829	17.3%	2,497	833	1,663	199.5%
その他	21,581	20,943	637	3.0%	717	371	346	93.4%
小計	334,501	325,734	8,766	2.7%	10,754	7,209	3,544	49.2%
調整額	△60,473	△60,429	△44	—	315	133	182	136.3%
合計	274,027	265,305	8,722	3.3%	11,070	7,343	3,726	50.8%

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

### <一般用消費財事業>

当事業は、「オーラルケア分野」、「ビューティケア分野」、「ファブリックケア分野」、「リビングケア分野」、「薬品分野」、「その他の分野」に分かれており、全体の売上高は、前年同期に比べ0.5%の減少となりました。セグメント利益は、高付加価値品が好調に推移したことや原材料価格の低減などにより前年同期比47.3%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	197,243		198,259		△1,016	△0.5%
セグメント利益	6,596	3.3%	4,477	2.3%	2,118	47.3%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では19,004百万円、前第3四半期では18,849百万円となっております。

### [売上高の分野別状況]

(単位：百万円)

	当第3四半期	前第3四半期	増減額	増減率
オーラルケア分野	41,726	38,926	2,799	7.2%
ビューティケア分野	15,477	15,903	△425	△2.7%
ファブリックケア分野	55,985	59,773	△3,788	△6.3%
リビングケア分野	15,103	14,537	565	3.9%
薬品分野	28,210	27,381	829	3.0%
その他の分野	40,739	41,737	△997	△2.4%

#### (オーラルケア分野)

歯磨は、主力の「クリニカ」シリーズが堅調に推移するとともに、知覚過敏症状を防ぐ効果と歯を白くする効果のある歯磨をそれぞれ追加新発売した「システムハグキプラス」シリーズが3倍増となり、全体の売上は前年同期を上回りました。

歯刷牙は、「クリニカアドバンテージ ハブラシ」が好調に推移するとともに、たっぷりの毛束と段差植毛した極細毛が、あらゆるすき間の汚れを効率良く落とす新製品「ビトイーン贅沢<sup>ケア</sup>Care」がお客様のご好評を得て、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

#### (ビューティケア分野)

ハンドソープは、「キレイキレイ薬用泡ハンドソープ」が堅調に推移するとともに、調理で手についた生肉の脂汚れ・生魚のニオイまでしっかり落とす「キレイキレイ薬用キッチン泡ハンドソープ」を新発売し、全体の売上は前年同期を上回りました。

制汗剤は、「ナノイオン殺菌成分」がワキのニオイを長時間ブロックする新製品「Ban<sup>バン</sup>ニオイブロックロールオン」がお客様のご好評を得ましたが、パウダースプレーが伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

**(ファブリックケア分野)**

洗濯用洗剤は、超コンパクト液体洗剤「トップ<sup>ナノノックス</sup> NANO X」、「トップ<sup>ハイジア</sup> HYGIA」の育成に注力しましたが、粉末洗剤の市場規模縮小等の影響を受け、全体の売上は前年同期を下回りました。

柔軟剤は、「香りとデオドラントのソフラン アロマナチュラル」シリーズが順調に推移するとともに、「香りとデオドラントのソフラン アロマリッチ」シリーズが好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

**(リビングケア分野)**

台所用洗剤は、ベタつく油汚れを水のようにサラサラ落とす“ナノ洗浄”で食器洗いが手早く片づく新製品「CHARMY<sup>チャーミー</sup> M a g i c a<sup>マジカ</sup>」がお客様のご好評を得て、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

住居用洗剤は、浴室用カビ防止剤「ルック おふろの防カビくん煙剤」、トイレ用洗剤「ルックまめピカ トイレのふき取りクリーナー」の育成に注力しましたが、全体の売上は前年同期を下回りました。

**(薬品分野)**

解熱鎮痛薬は、「バファリン プレミアム」が好調に推移しましたが、「バファリンA」が伸びなやみ、全体の売上は前年同期比横ばいとなりました。

点眼剤は、「スマイル40 プレミアム」や「スマイル40<sup>イーエックス</sup> E X ゴールドマイルド」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

**(その他の分野)**

通信販売商品は、“内臓脂肪を減らすのを助け、高めの BMI<sup>ビーエムアイ</sup> の改善に役立つ”機能性表示食品として「ナイスリムエッセンス ラクトフェリン」を6月末に改良発売するとともに、エイジングヘアケアシリーズ「Fleuria<sup>フルリア</sup>」が好調に推移しましたが、全体の売上は前年同期を下回りました。

ペット用品は、猫用トイレの砂「ニオイをとる砂」が伸びなやみ、全体の売上は前年同期比横ばいとなりました。

### <産業用品事業>

当事業は、導電性カーボン、界面活性剤、業務用洗剤等で構成されており、全体の売上高は、前年同期比3.8%の減少となりました。セグメント利益は、前年同期比38.2%の減少となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	42,253		43,938		△1,684	△3.8%
セグメント利益	942	2.2%	1,526	3.5%	△583	△38.2%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では19,624百万円、前第3四半期では20,668百万円となっております。

導電性カーボンは、リチウムイオン電池などの2次電池向け「ケッチェンブラック」が順調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

界面活性剤は、洗剤向けの原料等が伸びなやみ、全体の売上は前年同期を下回りました。

業務用洗剤は、厨房向け消毒用アルコールが好調に推移するとともに、ハンドソープが堅調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

### <海外事業>

海外では、タイ、韓国、中国等において主に消費財事業を展開しており、全体の売上高は、前年同期比17.3%の増加（為替変動の影響を除いた実質前年同期比5.7%の増加）となりました。セグメント利益は、前年同期比199.5%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	73,423		62,593		10,829	17.3%
セグメント利益	2,497	3.4%	833	1.3%	1,663	199.5%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では4,911百万円、前第3四半期では3,205百万円となっております。

#### (主要国の状況)

タイでは、「KODOMO」ブランドのオーラルケアシリーズや「植物物語」ボディソープが好調に推移し、全体の売上も前年同期を上回りました。なお、為替変動の影響を受け円貨換算では大幅に上回りました。

韓国では、「システム」歯磨が順調に推移するとともに、「キレイキレイ」ハンドソープが好調に推移し、全体の売上も前年同期を上回りました。なお、為替変動の影響を受け円貨換算では大幅に上回りました。

中国では、「システム」歯刷牙子が順調に推移するとともに、日本からの輸入販売が増加し、全体の売上も前年同期を大幅に上回りました。また、円貨換算でも大幅に上回りました。

## ＜その他＞（建設請負事業等）

（単位：百万円）

	当第3四半期	売上比	前第3四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	21,581		20,943		637	3.0%
セグメント利益	717	3.3%	371	1.8%	346	93.4%

（注）売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第3四半期では16,933百万円、前第3四半期では17,706百万円となっております。

## （2）財政状態に関する説明

## 当四半期における資産、負債および純資産の状況

（連結財政状態）

	当第3四半期 連結会計期間末	前連結会計年度末	増減
総資産（百万円）	280,177	283,352	△3,174
純資産（百万円）	130,649	127,434	3,214
自己資本比率※1（%）	43.7	42.6	1.1

※1：自己資本比率は、（純資産－新株予約権－少数株主持分）／総資産で計算しています。

総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末と比較して31億7千4百万円減少し、2,801億7千7百万円となりました。純資産は、32億1千4百万円増加し、1,306億4千9百万円となり、自己資本比率は43.7%となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年7月31日に発表いたしました通期の連結業績予想については変更しておりません。

（当期業績予想値算出の前提条件）

第3四半期以降における主要な為替レートは、125円／米ドル、3.6円／パーツとしています。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、平成27年7月1日付で、ライオン・スペシャリティ・ケミカルズ株式会社は一方社油脂工業株式会社を存続会社とする吸収合併により解散したため、連結の範囲から除外しております。存続会社であります一方社油脂工業株式会社は、同日付でライオン・スペシャリティ・ケミカルズ株式会社に商号変更しております。

平成27年8月3日付で、獅王（中国）日用科技有限公司は獅王日用化工（青島）有限公司を存続会社とする吸収合併により解散したため、連結の範囲から除外しております。

獅王家品股份有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

サザンライオン有限公司は、経営の意思決定の迅速化を目的とした合弁契約の一部改定に伴い、当社の持分法適用会社から連結子会社となりました。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が4,106百万円減少、退職給付に係る負債が3,161百万円増加、利益剰余金が4,680百万円減少しております。なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,008	19,859
受取手形及び売掛金	59,007	52,564
有価証券	24,448	27,911
商品及び製品	25,270	26,641
仕掛品	4,605	6,046
原材料及び貯蔵品	9,489	9,828
その他	5,396	6,268
貸倒引当金	△51	△48
流動資産合計	146,175	149,071
固定資産		
有形固定資産	79,275	78,297
無形固定資産		
商標権	7,197	5,120
その他	1,909	1,634
無形固定資産合計	9,106	6,754
投資その他の資産		
投資有価証券	34,438	34,045
その他	14,388	12,268
貸倒引当金	△31	△260
投資その他の資産合計	48,794	46,054
固定資産合計	137,176	131,106
資産合計	283,352	280,177
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,590	43,678
短期借入金	12,602	10,650
1年内返済予定の長期借入金	116	116
未払金及び未払費用	45,123	39,450
未払法人税等	3,336	2,840
賞与引当金	2,631	3,534
返品調整引当金	525	490
販売促進引当金	894	2,424
役員賞与引当金	256	228
その他	3,459	3,776
流動負債合計	115,537	107,190
固定負債		
新株予約権付社債	14,430	12,493
長期借入金	2,448	2,162
役員退職慰労引当金	448	407
退職給付に係る負債	18,526	22,509
資産除去債務	344	344
その他	4,182	4,420
固定負債合計	40,380	42,338
負債合計	155,918	149,528

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,433	34,433
資本剰余金	31,499	31,917
利益剰余金	66,095	66,147
自己株式	△16,827	△15,161
株主資本合計	115,201	117,337
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,912	9,350
繰延ヘッジ損益	△0	△11
為替換算調整勘定	3,339	1,040
退職給付に係る調整累計額	△5,816	△5,382
その他の包括利益累計額合計	5,434	4,998
新株予約権	910	840
少数株主持分	5,888	7,472
純資産合計	127,434	130,649
負債純資産合計	283,352	280,177

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	265,305	274,027
売上原価	116,092	118,844
売上総利益	149,212	155,182
販売費及び一般管理費	141,869	144,112
営業利益	7,343	11,070
営業外収益		
受取利息	124	94
受取配当金	405	449
持分法による投資利益	462	542
受取ロイヤリティー	200	222
為替差益	106	85
その他	320	366
営業外収益合計	1,619	1,761
営業外費用		
支払利息	511	328
社債利息	53	95
その他	195	143
営業外費用合計	760	566
経常利益	8,202	12,265
特別利益		
段階取得に係る差益	477	-
負ののれん発生益	97	-
投資有価証券売却益	-	141
固定資産処分益	-	625
その他	34	-
特別利益合計	609	766
特別損失		
固定資産処分損	205	824
減損損失	90	196
段階取得に係る差損	-	178
特別損失合計	296	1,199
税金等調整前四半期純利益	8,515	11,832
法人税、住民税及び事業税	3,189	3,947
法人税等調整額	△4	△482
法人税等合計	3,184	3,465
少数株主損益調整前四半期純利益	5,330	8,366
少数株主利益	435	953
四半期純利益	4,895	7,413

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,330	8,366
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△417	1,472
繰延ヘッジ損益	△14	△11
為替換算調整勘定	975	△2,634
退職給付に係る調整額	-	434
持分法適用会社に対する持分相当額	134	△261
その他の包括利益合計	677	△1,000
四半期包括利益	6,007	7,366
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,319	6,976
少数株主に係る四半期包括利益	688	389

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	一般消費財 事業	産業用品事業	海外事業				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	179,410	23,269	59,388	3,237	265,305	—	265,305
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1	18,849	20,668	3,205	17,706	60,429	△ 60,429	—
計	198,259	43,938	62,593	20,943	325,734	△ 60,429	265,305
セグメント利益	4,477	1,526	833	371	7,209	133	7,343

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 133 百万円は、内部取引消去額等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	一般消費財 事業	産業用品事業	海外事業				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	178,239	22,628	68,511	4,647	274,027	—	274,027
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注)1	19,004	19,624	4,911	16,933	60,473	△ 60,473	—
計	197,243	42,253	73,423	21,581	334,501	△ 60,473	274,027
セグメント利益	6,596	942	2,497	717	10,754	315	11,070

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 315 百万円は、内部取引消去額等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

当社は平成27年10月29日開催の取締役会において、当社洗濯用洗剤の生産体制見直しの一環として、千葉工場の粉末洗剤製造設備を撤去することを決議いたしました。これにより、当第4四半期連結会計期間において、撤去資産簿価額及び撤去費用の合計約1,130百万円を特別損失に計上いたします。

(1) 理由

地震等の災害時に備えたリスク対応の見直し、及び洗濯用洗剤市場の変化に対応するためであります。

(2) 今後のスケジュール

撤去開始時期：平成27年12月（予定）

撤去完了時期：平成28年12月（予定）